

特集

種苗交換会受賞者

〜こだわりの栽培法〜

秋田県知事賞・生しいたけ部門受賞



藤里町・根城岱

加藤 晃子さん

経営規模
水稲8ha、しいたけ2棟・
まいたけ3棟のハウスと
培養室、大豆60a、そば
40a

念願の県知事賞を受賞!!

10月29日から11月4日まで、横手市で開催された、『第134回秋田県種苗交換会』において、管内から秋田県知事賞・1等賞に、加藤晃子さん・今野正勝さん・今野高道さん・大高秀雄さん・佐藤謙悦さんの5名の方が受賞されました。さらに、加藤晃子さんは全国農業協同組合中央会会長賞を、今野正勝さんは全国農業協同組合連合会秋田県本部運営委員会会長賞を、それぞれ受賞されました。

県内から、2047点もの農産物出品が展覧された中で、58点しか受賞していない、秋田県知事賞に選ばれた5名の方の農産物。その匠の栽培法と、農業にかける想い、また来年度元能代で開催される、『第135回秋田県種苗交換会』に向けた意気込みなどを聞いてきました。

夫婦で菌茸栽培を行うようになってから、約20年。県内外の勉強会に通って知識を深め、品質向上に努めた結果、全国菌床生産者大会で毎年表彰されている、加藤さん。そして今年の種苗交換会で、念願の秋田県知事賞と、全国農業協同組合中央会会長賞を受賞し、その栽培技術の高さが、改めて証明されました。

この時期はハウス内の温度調節用の薪集めを、夫の博正さんが行い、キノコの世話は晃子さんが担当する、夫婦二人三脚での営農です。

受賞した生しいたけは、今年から栽培を始めた品種。これまでの栽培技術を活かし、ハウス内の温度や湿度に気を配った結果が、受賞に繋がりました。

「今回のことで、自分たちの栽培が評価されたのが、一番嬉しいですね。今後栽培技術向上を図り、連続受賞を目指します！」

秋田県知事賞・ネギ部門受賞



能代市・成合

今野 正勝さん

経営規模
水稲23ha、ネギ1ha

2年連続で県知事賞に輝く!!

昨年引き続き、今年もネギで秋田県知事賞を受賞した、今野正勝さん。さらに今年、全国農業協同組合連合会秋田県本部運営委員会会長賞も受賞されました。土づくりにこだわり、夫婦で常に新しいことに挑戦しています。

「今年は春先の低温で生育が遅れたこともあり、来年は地温を上げるため、有機質堆肥と畜産堆肥を2対1の割合で施肥し、完全堆肥化を図っています。そうすることで、土壌生物の働きを活発にし、豊かな土壌を作りあげ、更なる高品質ネギの生産を目指します。」と話す今野さん。

また、昔に比べ、農業関連の本を良く読むようになったそう、その飽くなき向上心が、2年連続受賞という結果を生みだしました。目指すは、3年連続の秋田県知事賞です。

「受賞は個人のみならず、同じ生産農家の活気に繋がりますので、受賞できるよう頑張ります。」と力強く、抱負を語ってくれました。